

今月の新着本



西口ライブラリーに新しく入った本を一部紹介します。

幸福な監視国家・中国 梶谷 懐・高口 康太 著/NHK出版(302-カジタ)	土に贖う 河崎 秋子 著/集英社(F-カワサ)
図解 ちばんやさしく丁寧に書いた法人税申告の本 '20年版 須田 邦裕 著/成美堂出版(336-スダク)	穴掘り 本城 雅人 著/双葉社(F-ホンジ)
明るい不登校 奥地 圭子 著/NHK出版(371-オクチ)	トリガー 上・下 真山 仁 著/KADOKAWA(F-マヤマ)
認知症の親を介護している人の心を守る本 西村 知香 監修/大和出版(493-ニンチ)	虹のような黒 連城 三紀彦 著/幻戯書房(F-レンジ)
救急車が来なくなる日 笹井 恵里子 著/NHK出版(498-ササイ)	魔性 明野 照葉 著/PHP研究所(PF-アケノ)
プラスチックの現実と未来へのアイデア 高田 秀重 監修/東京書籍(519-プラス)	カール・エビス教授のあやかし京都見聞録 柏井 壽 著/小学館(PF-カシワ)
コードから始めるジャズ・ピアノ入門 2019 菊地 雅臣 編著/自由現代社(763-キクチ)	降らなきや晴れ 香納 諒一 著/双葉社(PF-カノウ)
人生の終わり方も自分流 曾野 綾子 著/河出書房新社(914.6-ソノア)	鳴砂の歌 波汐 国芳 著/角川文化振興財団(K911.1-ナミシ)

浪漫紀行 福島

今回は、日本三大火祭りの一つにも挙げられる、須賀川の「松明あかし」をご紹介します。

天正17年、伊達政宗が須賀川城に攻めてきました。城主の二階堂家は降伏せずに立ち向かいますが、内通者により城や町は炎に包まれ、多くの犠牲者が出て、ついには落城。この戦で亡くなった人々を弔うため、旧暦10月10日に始められたのが、松明あかしとされています。元々は、十日夜(とおかんや)という農作物を荒らすムジナを追い払う習わしの日でもあり、新しい領主の手前、「ムジナ狩り」と称して続けられ、現在に受け継がれました。当日は、10メートル・重さ3トンもの大松明を担いだ人々が町中を練り歩き、五老山山頂へ向かいます。そこでは前もって立てられた大松明約30本があり、一斉に点火されますが、その燃え上がる様子は壮大です。今年は、11月9日に開催予定です。

参考文献:『福島遺産百選ガイドブック』福島民友新聞社(K291.2-フクシ)
『うつくしま祭り50選スペシャル』懸田 弘訓 著/福島テレビ株式会社(K386-カケタ)

クイズの答え

①798円

772円から26円上がりました。

図書館カレンダー 11月

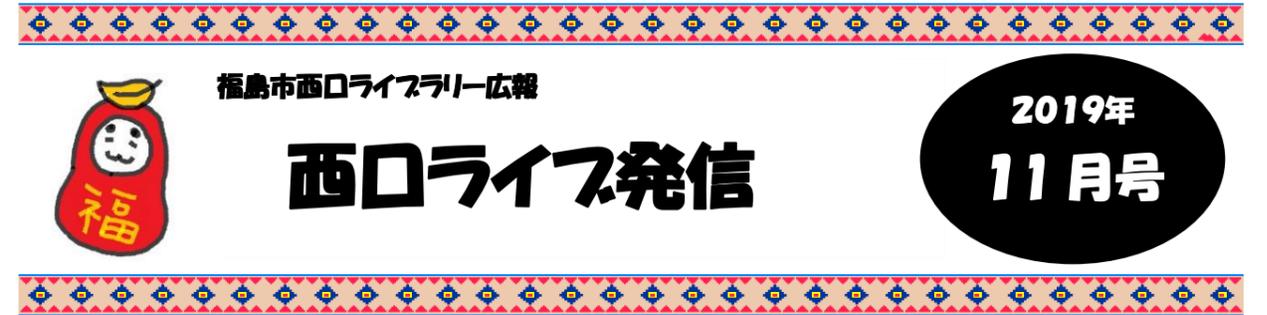
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

印は休館日

2019年11月1日発行

編集:福島市西口ライブラリー
〒960-8053
福島市三河南町1-20
TEL024-525-4023
発行:福島市立図書館
〒960-8018
福島市松木町1-1
TEL024-531-6551

ホームページ:
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/tosyo-kanri/kanko/toshokan/>
ふくしまウェブ携帯版アドレス:
<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/mobile>



福島市西口ライブラリー広報

西口ライブ発信

2019年
11月号

今月の新着本案内



『消えた山人 昭和の伝統マタギ』
千葉 克介 著/農山漁村文化協会
(384-チバカ)

秋田・岩手を中心に行われていた伝統マタギ。写真家の著者は、長期にわたって取材を重ね、その様子を記録した。独特の狩りや装束・小屋がけ・おふるまいなど、今はもう見ることのできない山人たちの姿を明らかにする。



『初心者でも必ず上達する ジョギング&ランニング入門』
坂本 雄次 監修/マイナビ出版
(782-シヨシ)

練習の方法から必要な道具の選び方まで優しく丁寧に解説しながら、走ることの楽しさを伝えます。経験のない方や運動は苦手という方にもおすすめです。巻末には、全国のマラソン大会一覧も収録されています。



『10万円でシルクロード10日間』

下川 裕治 著/KADOKAWA(292-シモカ)

旅行作家の著者が、中国西安からウズベキスタンのブハラまで、シルクロードを陸路で案内します。仏教遺跡や異国情緒あふれる建造物など、周辺の観光スポットも掲載。豊富な写真は、見るだけで旅の気分を味わうことができます。

～「朗読会 ことのはの時間」開催のお知らせ～

大人のための朗読会で、ゆったりとした時間を過ごしてみませんか?

日時 令和元年12月15日(日)午後2時30分～3時15分
場所 コラッセふくしま3階 302会議室
参加費は無料、申込不要です。

プログラム

- ・「山の雪」(高村 光太郎 著『百年文庫 96』より)
- ・「最後の一句」(森 鴉外 著『最後の一句・山椒大夫ほか』より)
- ・「きつねの窓」(安房 直子 著『でんでんむしのかなしみ』より)



展示★名作案内

働き方

1人ひとりが輝くために

WORK LIFE



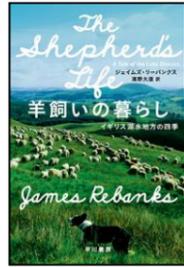
書くひとの館

141号室

中島 京子
(なかじま きょうこ)

ゴースト

朝日新聞出版(F-ナカジ)



『羊飼いの暮らし』

ジェームズ・リーバンクス 著

濱野 大道 訳

早川書房(645-リバン)

夏は羊たちが青々とした草を食み、秋は競売市が開かれる。過酷な雪と戦う冬を乗り越え、何百匹もの仔羊が生まれる春を待つ。英国の羊飼いの暮らしを参考に、私たちの働き方についてもう一度考えてみませんか。



『副業は「趣味と特技」で

楽しく稼ぐ』

藤木 俊明 著/新講社(366-フジキ)

副業をしたいけれど時間がない、体力が持つか心配という人のために、無理なく始められる副業を紹介。空いた時間にできるものや自分の特技を活かせるものなどで、楽しく収入アップを目指せます。



『逃げ出せなかった君へ』

安藤 祐介 著/KADOKAWA(F-アンド)

大友・夏野・村沢3人が入社したのは、早朝から深夜まで営業を行い、上司に罵詈雑言を浴びせられる典型的なブラック会社だった。上司のターゲットにされた村沢をかばった夏野だが、さらに陰湿な仕打ちが待っていて…。6つの連作短編集。



『図解働き方』

稲盛 和夫 著/三笠書房

(159-イナモ)

できるだけ働きたくない。働くなら、ラクして楽しくがいい…という考えが増えていることに警鐘を鳴らし、働くことの本質を伝えます。

真剣に働くことは、幸福な人生を手に入れるために大切であると考えさせられる一冊です。



『10年後の仕事図鑑』

堀江 貴文・落合 陽一 著

SBクリエイティブ(304-ホリエ)

AIや仮想通貨の登場によって、仕事の在り方は急激に変化しつつあります。10年後になくなる仕事、生まれる仕事は何か。本書では、46の職業の未来を、経営者としての視点とAIを作る側の視点からイラスト付きで解説します。



1964年東京都生まれ。東京女子大学を卒業。出版社勤務を経て、フリーライターとなる。2003年に『FUTON』で小説家デビュー。その後、2010年『小さいおうち』で143回直木賞を受賞。同作品は2014年に映画化された。

香港のブックフェアに招かれた作家の「私」は、観光で九龍城の跡地を訪れる。そこで出会った台湾の女性作家と意気投合して、彼女と日本での再会を約束する。後日、訪日した彼女は、とある廃墟に行ってみようという。そこは数奇な運命を辿った台湾人学生寮だった。(「廃墟」より)

この世から去っていった人々の思い出と人生を丁寧に描き出す、七つの幽霊の物語。

～その他の作品～

『イトウの恋』 2005年

『妻が椎茸だったころ』 2013年

『夢見る帝国図書館』 2019年

ほか

～隠し部屋～

作家になる以前、アメリカで教育実習生として働いていた。子どもたちにはキョウコ・ナカジマを言い換えた「ココ・マツカリーナ」の名で呼ばれていた。

クイズ解かっせ

福島県の最低賃金が令和元年10月1日から変わりました。それはいくらでしょうか。次から選んで下さい。

①798円

②824円

③790円

④849円

